

タイトル	表紙
著者	
引用	北海学園大学学園論集(193)
発行日	2024-03-27

学園論集

2024(令和6)年3月
第193号

魚住純 教授 退職記念号
佐藤克廣 教授
大谷通順 教授

[巻頭文]

献辞	元木 邦俊	i
光と共に歩んだ49年を振り返って	魚住 純	v
献辞	館田 晶子	xxi
退職にあたって	佐藤 克廣	xxiii
ご退職記念号に寄せて	小松かおり	xlix
回憶 — 教養部時代を中心に	大谷 通順	liii

論文

大雪山研究を振り返って — 地すべり・崩壊地形と氷河地形 —	高橋 伸幸	1
ディルタイ『シュライヤーマッヒヤーの生涯』(1870)における „Bildungsroman” およびその類義語の用法について	北原 寛子	35
ウズベキスタンの拡大家族主義： 高出生率を支える収入とケア確保の実態とイデオロギー	菊田 悠	53
多声性の国際政治 — 北極秩序形成をめぐる模索と行動 —	伊山 智基, 高橋美野梨	73
幼児における自己・他者描画活動が自己・他者理解の発達に及ぼす影響： — 事例実験デザインによる研究 —	進藤 将敏	91
“Babylon Revisited”における死者の終わりなき再訪	松浦 和宏	101
研究ノート ヨハン・ペツルのフリーメイソンリー観 — 『影と光』をてがかりに —	北原 博	111

学園論集 第191号

コンクリート材料の耐久性向上に関する実験研究
(住宅基礎用・高耐候仕様弾性塗料の塗膜劣化状態の違いによる
中性化抑制効果に関する実験研究)
.....杉山 雅

数学教育・統計教育の今後の課題について
.....関 哲人, 速水 孝夫

欧米における経営史研究とマネジメント・組織研究の対話と交流(上)
—— Üsdiken and Kipping (2020) によるサーベイを中心に ——
.....近藤 弘毅

学園論集 第192号

大理石と言語
—— ブランショ『文学空間』における「物質性」について
.....門間 広明

〈やさしい日本語〉から母語話者は何を学ぶか
—— 美術展示の解説文の書き換えを通して ——
.....丸島 歩

欧米における経営史研究とマネジメント・組織研究の対話と交流(下)
—— Üsdiken and Kipping (2020) によるサーベイを中心に ——
.....近藤 弘毅

The 5 Minute Linguist 注解(1)
.....上野 誠治

—— 執 筆 者 一 覧 ——

論文

高 橋 伸 幸	工学部 教授	地球科学
北 原 寛 子	経済学部 教授	ドイツ文学
菊 田 悠	経済学部 教授	文化人類学
高 橋 美野梨	法学部 准教授	地域研究
(共著者)		
伊 山 智 基	法学部政治学科	2023 年 3 月卒業
進 藤 将 敏	経営学部 准教授	認知・発達心理学
松 浦 和 宏	法学部 准教授	現代アメリカ文学

研究ノート

北 原 博	法学部 教授	ドイツ文学
-------	--------	-------

学 園 論 集 第 193 号

2024 年 3 月 27 日発行

編集・発行	北海学園大学学術研究会
発行代表者	森 下 宏 美(北海学園大学長)
研究紀要 委 員	山田誠二(経済学部教授), マツネ・マーク(経営学部教授) 内山敏和(法学部教授), テレングト アイトル(人文学部教授) 平田恵啓(工学部准教授)
学術研究会 事 務 局	☎062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1-40 北海学園大学教務センター内 ☎(011) 841-1161

印刷 株式会社アイワード

THE JOURNAL OF HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY

GAKUEN RONSHU

No. 193 March 2024

Dedication	Kunitoshi MOTOKI	i
Looking back on my life of 49 years passed away with light	Jun UOZUMI	v
Dedication	Akiko TATEDA	xxi
Farewell Address	Katsuhiro SATOH	xxiii
Dedication	Kaori KOMATSU	xlix
Memoirs — mainly from the days of the Faculty of Liberal Arts	Michiyori OTANI	liii

Articles

Looking back on the Study of the Daisetsuzan Mountains — Landslide Landforms and Glacial Landforms —	Nobuyuki TAKAHASHI	1
Über die Konstellationen des Begriffs „Bildungsroman“ und dessen Synonymen bei „Leben Schreiermachers“ von Dilthey (1870).	Hiroko KITAHARA	35
Extended familialism in Uzbekistan: The mechanism and ideology of securing income and care to support high birthrates	Haruka KIKUTA	53
International Politics of Polyvocality: Search for and Action on the Formation of an Arctic Order	Tomoki IYAMA and Minori TAKAHASHI	73
The effects of drawing of self and others in young children on development of understanding of self and others: A single-case research design	Masatoshi SHINDO	91
The Endless Revisiting of the Dead in “Babylon Revisited”	Kazuhiro MATSUURA	101
Note		
Johann Pezzls Gedanken über Freimaurerei in <i>Schatten und Licht</i>	Hiroshi KITAHARA	111